

時代	西暦	栃木県のできごと
旧石器	4万5000年前	県内最古の遺跡が、那須山麓で発見される(那須町七曲遺跡)
	2万5000年前	このころから、各地で狩猟活動が確認されるようになる(塩谷町鳥羽新田遺跡など)
縄文	1万年前	土器と弓矢が使われ始める(宇都宮市大谷寺岩陰遺跡など) たて穴式住居がつくられ、定住生活が確立する(宇都宮市清陵高校遺跡など)
	5000年前	このころ、東京湾が現在の藤岡町付近まで広がっていた(藤岡町篠山貝塚) 各地に大集落が出現する(宇都宮市根古谷台遺跡、小山市寺野東遺跡、小川町浄法寺遺跡など)
	2200年前	低地に集落ができ、祈りの道具がつくられる(藤岡町後藤遺跡など) 住居に食物の貯蔵穴がみられるようになる(市貝町添野遺跡など)
弥生	前300年前	弥生文化が伝わり、各地に再葬墓が出現する(佐野市出流原遺跡など) 平野部に集落ができ、地域色を残す個性的な土器がつくられる(真岡市井頭遺跡など)
古墳	350ころ	大和朝廷が国土を統一する
	4世紀	古式な前方後円墳がつくられる(小川町駒形大塚古墳など) 土師器を使用し、低地に農耕集落が形成される(国分寺町烏森遺跡など) 大型の前方後方墳がつくられる(湯津上村上・下侍塚古墳など)
	5世紀	大型の前方後円墳に埴輪がおかれる(宇都宮市笹塚古墳など) 小河川が開発され、多くの集落がつくられる(鹿沼市稲荷塚遺跡など)
	6世紀	100mを超える前方後円墳がつくられる(小山市琵琶塚・摩利支天塚古墳など) 「下野型古墳」が多くつくられる(壬生町吾妻岩屋古墳など)
飛鳥	673	下野薬師寺がつくられる
	645	大化の改新が始まる
	687	帰化した新羅人を、下野国におくこととする
	689	直韋提が那須国造となる
	700	那須国造直韋提が死去し、那須国造碑がつくられる
奈良	710	都を平城京に移す このころ、下野でも本格的な須恵器生産が始まる(佐野市三轟山窯跡群など) 律令制度により、郡家や国府が整備される(小川町那須郡衙跡、栃木市下野国府跡)
	716	下野国などの高麗人を武蔵国に移し、高麗郡をおく
	741	国分寺建立の詔により、下野国分寺・国分尼寺がつくられる
	761	下野薬師寺に戒壇院がおかれ、東国の授戒が薬師寺で行われる
	770	道鏡が造薬師寺別当に任じられ、下野に流される
	771	東山道の駅路が上野新田駅から足利駅に変更される
	782	勝道上人が男体山の登頂に成功し、中禅寺湖畔に寺をつくる
	792	下野国の郡司の子弟100人が、健児として選抜される(健児の制)
平安	794	都を平安京に移す
	802	坂上田村麻呂が胆沢城をつくり、下野などの浪人4000人をおく
	864	天台宗を広めた円仁(下野国都賀郡出身)が死去。後に慈覚大師の名が贈られる

鎌倉
建武
南北朝
室町
戦国

- 916 下野国に、藤原秀郷らの罪人 18 人が流される
- 939 平将門が下野国府を占領し、自ら「新皇」と称する
- 940 藤原秀郷と平貞盛が、将門を破る。秀郷はその功績で下野・武蔵の国司となる
- 1016 藤原道長が摂政となる
- 1142 足利義国が足利郡内の開発私領を安楽寿院に寄進し、足利荘が成立する
- 1187 小山朝光の母寒川尼が、源頼朝から寒河郡・阿志土郷の地頭職に任じられる
- 1189 源頼朝が宇都宮明神(二荒山神社)に戦勝を祈願する
- 1192 源頼朝が征夷大將軍になる
- 1193 源頼朝が那須野ヶ原で巻狩をする。小山朝政・宇都宮朝綱らは、それぞれ勢子1000人を出す
- 1230 小山朝政が孫長村に譲る役職・領地を書き記した書状(小山朝政讓状)が残される
- 1243 宇都宮泰綱が評定衆に任じられる(1273年に景綱も)
- 1274 文永の役がおこる(元寇)
- 1283 宇都宮景綱が「宇都宮家弘安式条」を制定する(最初の武士の家法)
- 1305 宇都宮貞綱が幕府の命令で内管領北条宗方を討つ
- 1333 宇都宮公綱が四天王寺の楠木正成軍を攻める
小山秀朝が新田義貞軍に呼応して鎌倉を攻める
- 1334 前年より建武の新政が行われる
宇都宮公綱が雑訴決断所の所員に就任する
- 1335 小山常犬丸が足利尊氏に従い、箱根竹の下の戦いで新田義貞軍を破る
- 1337 北朝方の桃井貞直が南朝方と宇都宮宮隠原で戦う
- 1338 足利尊氏が征夷大將軍になる
- 1339 南朝方の春日顕国軍が宇都宮城・飛山城の北朝軍を破る
- 1368 宇都宮氏綱が平一揆を機に反鎌倉府の兵を挙げる(同年、降伏)
- 1382 小山義政が足利氏満に攻められ、自殺する
- 1401 このころ、宇都宮興禅寺領中里郷の農民が毎年のように逃散する
- 1416 鎌倉で上杉禅秀が挙兵し、那須資之・宇都宮左衛門佐らが従う
- 1438 永享の乱で、那須資重・茂木知政らが鎌倉府方、小山持政・上那須資之らが室町幕府方につく
- 1439 上杉憲実が5か条の条目を定め、足利学校を再興する
- 1467 応仁の乱がおこる
- 1506 古河公方足利高基が父政氏と対立し、妻の父宇都宮成綱のもとへ行く(1509年に和睦して古河へ戻る)
- 1512 宇都宮成綱が宿老芳賀高勝を殺害する。芳賀一族は、成綱にそむく(宇都宮錯乱)
- 1526 宇都宮忠綱が下総の結城政朝と宇都宮領猿山で戦う。同日、忠綱の叔父芳賀興綱が政朝とともに、宇都宮城を奪う
- 1536 芳賀高経が宇都宮興綱を殺害する
- 1549 キリスト教が伝わる
宇都宮尚綱が喜連川の五月女坂で那須高資と戦い、戦死する
- 1556 このころ、壬生綱雄が宇都宮城を占拠する

- 1557 このころ、芳賀高定が宇都宮広綱を擁立し、足利義氏・北条氏康らの援助で宇都宮城を奪還する
- 1560 北条氏政が足利学校に『文選』を贈る
- 1563 宇都宮広綱が上杉謙信らと祇園城の小山秀綱、佐野城の佐野昌綱を攻め降伏させる
- 1576 壬生城主壬生綱雄が弟の鹿沼城主壬生周長によって、鹿沼天満宮で殺害される
- 1578 佐竹・那須・宇都宮氏らが鬼怒川を隔てて北条軍と対陣する
- 1586 皆川広照が皆川城を攻められ、北条氏直に帰属する
- 1588 芳賀高継が『平家物語』全12巻を大前神社に納める
- 1590 豊臣秀吉が小山秀綱・壬生義雄・日光山などの所領を没収する
秀吉が皆川広照の本領を安堵する
- 1592 宇都宮国綱が文禄の役で朝鮮に渡る
- 1593 下野国で太閤検地が行われる
- 1597 豊臣秀吉が宇都宮国綱の所領を没収する
- 1600 徳川家康が小山で軍議を行う(小山評定。この後、関が原の戦いが起こる)
- 1603 **徳川家康が征夷大將軍になり、江戸に幕府を開く**
- 1611 足尾銅山が江戸幕府の直轄領となる
- 1617 日光東照社が完成し、家康を日光山に改葬する。將軍秀忠が、日光社参を行う
- 1620 秀忠が日光山領東照大権現社領を寄進する
- 1631 下野の各地で洪水が起こる
- 1642 宇都宮藩領の大凶作で、飢え死にする者が多く出る
- 1645 宮号宣下により、日光東照社が東照宮になる
会津藩が年貢米を輸送するために、原街道を開く
- 1646 那須地方で疎水事業が始まる(巻川用水開削)
- 1647 この年から、日光東照宮への勅使を「日光例幣使」と称する
- 1653 徳川家光が日光大猷院にまつられる
- 1659 塩原の元湯が地震により全滅する
- 1670 このころ、宇都宮西原十ヶ新田が開発される
- 1672 江戸浄瑠璃坂で元宇都宮藩士奥平源八らが父の仇討をする
- 1676 那須国造碑が馬頭の大金重貞により発見される。重貞が『那須記』を著す
- 1680 鬼怒川で大洪水がおこる。この年、壬生河岸がつくられる
- 1683 地震で栗山村の山が崩れ、五十里湖ができる
- 1689 松尾芭蕉・河合曾良が日光や那須湯本を巡る
- 1692 元水戸藩主徳川光圀が上侍塚・下侍塚古墳の発掘を命じる
光圀の命で、那須国造碑を安置する堂が完成する
- 1696 日光道中壬生通りの各宿の、定助郷が編成される
- 1700 日光奉行が設置される
- 1712 鳥居忠英が壬生藩主となり、近江よりかんぴょうを伝える
- 1716 **享保の改革が始まる**
宇都宮藩主戸田忠真が老中となる
- 1719 この年、宇都宮の手塚屋・岡村屋が飛脚問屋を始める

- 1742 足利地方で大洪水がおこる。
足尾銅山の鑄銭座で寛永通宝がつくられる
- 1764 宇都宮藩で上納米を6合摺に戻したために、百姓一揆がおこる(粉摺騒動)
- 1766 宇都宮地方で大洪水がおこり、300人以上が水死する
- 1776 宇都宮藩主戸田忠寛が寺社奉行に就任する
- 1778 日光で打ちこわしが発生する。
- 1780 関東大洪水で渡良瀬川堤が決壊し、足利町が浸水する
- 1783 浅間山大噴火の被害で、栃木・足利・佐野・鹿沼に打ちこわしがおこる
- 1784 日光目代がお救い米を支給する
- 1786 紋織工小坂半兵衛が西陣織りの技術を伝える
- 1790 黒羽藩家老鈴木武助が、松平定信へ建議書を提出する
- 1791 日光目代山口が罷免されたため、日光奉行が日光領を直接支配する
- 1794 茂木藩に藩学弘道館が建てられる
- 1797 下瀧の湯(現鬼怒川温泉)が開発される
- 1803 下野の朝鮮ニンジンが幕府の御用作となる
- 1808 寛政の三奇人の1人蒲生君平が京都や大阪などの古墳を調べ「山陵志」を発行する
- 1823 二宮尊徳が桜町の復興を命じられ、仕法を開始する
- 1824 このころ、足利に綿糸市場が開かれる
- 1838 壬生町惣百姓が38カ条の訴状を提出する
- 1839 尾上菊五郎一座の興行が栃木町で行われる
- 1846 二宮尊徳が日光領復興仕法書を幕府に提出する
- 1852 大塚啓三郎が益子で瀬戸焼を創業する
- 1853 **ペリーが浦賀に来航する**
- 1855 黒羽藩が江戸大地震をきっかけに、領内の材木を専売とする(翌年、反対の百姓一揆が起こる)
- 1862 坂下門外の変に下野の武士が参加し、大橋訥菴・菊池教中らが捕えられる
宇都宮藩が奈良や大阪の古墳を修理する
- 1864 宇都宮藩に幕府から天狗党追討の命令がくだされる
- 1867 **大政奉還が行われる**
- 1868 戊辰戦争で宇都宮市街に大きな被害がでる。
今市の戦いで、新政府軍が旧幕府軍を破る
- 1869 日光県を置く。各藩主が藩知事となる
- 1871 下野諸藩が県になり、宇都宮県などの10県ができる
諸県を統合して栃木県・宇都宮県を置く
- 1873 宇都宮県と栃木県を統合し、栃木県を置く
- 1874 『栃木新誌』が県内初の新聞として発行される
- 1875 栃木女学校(現県立宇都宮女子高校)を創設する
- 1879 栃木町でコレラが発生し、県内に大流行する
- 1880 田中正造が県会議員に当選する。安蘇団結会を結成する
- 1884 『下野新聞』が創刊される

	1885	東北本線の ^{大宮} 大宮～宇都宮間が開通する(1886年に黒磯まで延長) 那須 ^{そすい} 疏水が開通する
	1886	足尾銅山に日本初の民間電話ができる
	1888	両毛鉄道の小山～足利間が開通する
	1889	水戸線が開通する
	1890	渡良瀬川で魚が大量に死滅するという ^い 鉱毒問題が発生する 日光線が全線開通する
	1891	田中正造が第2回帝国議会で ^い 鉱毒事件の質問書を提出する
	1894	日清戦争がおこる
	1896	宇都宮が市となる(人口3万5234人) 渡良瀬川で大洪水がおこり、公害の被害が増す
	1897	^い 鉱毒被害民800人が農商務省に ^{ちんじやう} 陳情する
	1901	田中正造が衆議院議員を辞職し、天皇に ^{じきそ} 直訴する
1904	日露戦争がおこる	
1908	陸軍第十四師団が宇都宮に設置される	
大 正	1916	宇都宮市が上水道給水を開始する
	1917	栃木町民が電灯料金値上げに反対の町民大会を開く
	1918	大相撲で、 ^{とちぎやま} 栃木山(藤岡町出身)が第27代横綱に昇進する
	1919	足尾銅山労働同盟会のストライキが始まる
	1923	烏山線が全線開通する
	1924	^{よこた} 横田干之助が ^{かとうたかあき} 加藤高明内閣の司法大臣となる(栃木県最初の大臣)
	1932	日光が国立公園に選定される
	1933	宇都宮市で ^{てんねんとう} 天然痘が大流行する
	1934	陸軍特別演習が栃木・群馬・埼玉3県下で行われる
	1938	県下の中学校生徒の服装が一定化する
昭 和	1941	太平洋戦争が始まる
	1944	東京の学童の疎開がはじまる
	1945	アメリカ軍B29による宇都宮空襲で、620人以上が死亡する(7月12～13日) ポツダム宣言を受諾する アメリカ軍約4500人が宇都宮に進駐する
	1946	^{とかのさとこ} 戸叶里子が戦後初の衆議院議員選挙で、最高得票で当選する
	1949	^{いまいち} 今市地方に大地震がおこる
	1954	日光第一いろは坂有料道路が完成する
	1956	国際連合に加盟する
	1957	富士重工宇都宮製作所で、国産ジェット機第1号が完成する
	1958	東北本線大宮～宇都宮間が電化される
	1959	足利郡菱村が、群馬県桐生市に編入される(昭和最後の越県合併)
1962	^{まくしんがくいん} 作新学院が高校野球甲子園大会で、春夏連覇をはたす	
1966	沖縄 ^{まぶ} 摩文仁ヶ丘の慰霊碑 ^{いれいひ} の名称が「栃木の塔」と決定される	
1972	沖縄が日本に復帰する	

平成	1973	東北自動車道岩槻 ^{いわつき} ～宇都宮間が開通する(矢板 ^{やいた} ～白河間は 1974 年) 足尾銅山が閉山する
	1976	県内初の光化学スモッグ注意報が発令される 国府の発掘が 10 か年計画で実施される
	1980	国民体育大会(栃の葉国体)が栃木で開かれる
	1981	宇都宮が「テクノポリス」に指定される
	1982	東北新幹線が開通する
	1983	東照宮・輪王寺 ^{りんのおうじ} の「宗教百年戦争」に終止符がうたれる
	1984	「とちぎ博」が開かれる
	1988	「食と緑の博覧会・イートピア栃木' 88」が開かれる
	1989	参議院議員森山真弓 ^{もりやま まゆみ} が女性初の内閣官房長官 ^{かんぼうちやうかん} に就任する
	1990	JR のダイヤ改正で、上野・黒磯間 ^{くろいそ} が「宇都宮線」に名称変更される
	1995	第 10 回国民文化祭「とちぎ 95」が開催される
	1999	「日光の社寺」が、ユネスコ世界文化遺産に登録される
	2001	森山真弓 ^{もりやま まゆみ} が小泉純一郎 ^{こいずみじゆんいちろう} 内閣の法務大臣 ^{ほうむ} に就任する
	2005	「平成の大合併」により、那須塩原市 ^{なすしおばら} (黒磯市 ^{くろいそ} ・西那須野町 ^{にしなすの} ・塩原町 ^{しおばら} 、1 月)、佐野市 ^{さの} (佐野市 ^{さの} ・田沼町 ^{たぬま} ・葛生町 ^{くずう} 、2 月)、さくら市 ^{うじえ} (氏家町 ^{うじいえ} ・喜連川町 ^{きつれがわ} 、3 月)が誕生する